2022(令和4)年10月1日発行

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

美幌町共同募金委員会・ありがとう通信 第３号
発行：美幌町共同募金委員会（会長 杉原 重美）　☎ 72−1165
美幌町字東２条北２丁目２５番地　役場庁舎1Ｆ８番（社福）美幌町社会福祉協議会内

♪困ったときは、おたがいさま
支え合う人たちがいる♪

美幌高校ボランティア部2年生
左)千葉美空さん、右)後藤旬矢さん

今年も赤い羽根共同募金・歳末たすけあいのご協力をお願いします

10/1(土)～12/31(土)

76回目の赤い羽根の共同募金運動がはじまりました。

共同募金は、民間の福祉活動を支えています。そして共同募金は、寄付をいただくことに対する「ありがとう」、支援対象者の「ありがとう」、助成先団体・ボランティアグループからの「ありがとう」これはいわば「ありがとうの循環」の運動でもあります。

お金だけではなく気持ちが上乗せされる貴重な仕組み共同募金。今年も皆さまのご支援を宜しくお願いします。

会長　杉原 重美

意外と知られていない、赤い羽根募金の話

募金の約70％は、美幌の町を良くするために

昨年、美幌町では、各自治会をとおしての戸別募金、街頭募金、法人募金、学校募金、篤志募金などで3,150,779円ものご協力をいただきました。ありがとうございました。集まった募金の約70％、2,211,779円は美幌町内で使われています。残りの30％、939,000円は美幌町を超えて北海道内で広域的に使われています。

募金活動にご協力いただいている昨年の様子

美幌町内で使われる募金（配分金）の使途

▶裏面「ありがとうメッセージ」をご覧ください。

災害にも共同募金は使われています

大規模な災害が起こった時の備えとして、募金額の一部が「災害等準備金」として、北海道内で広域的に使われる募金から積み立てられています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災者を応援するために使われます。

福祉を支える社会貢献活動に使われています

共同募金は、たすけあいチームの活動費、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会など福祉団体の運営、高齢者などのサロン、こども食堂、草の根のボランティア活動費用など、様々な民間の社会福祉活動を支援しています。

「歳末たすけあい」も共同募金の一環です

12/1～12/31は、赤い羽根共同募金運動の一環として「歳末たすけあい」にもご協力をいただいています。昨年は1,210,092円の募金をいただきました。

歳末たすけあいは、全額町内の生活支援が必要な277件の方々へ明るい年越しを迎えていただけるように配分しました。

※本通信第２号（2022年3月1日発行）にて令和３年度赤い羽根募金の総額は3,141,512円と報告しましたが、その後募金が寄せられ最終的に募金額は3,150,779円となりました。

裏面をご覧ください

地域に生きています!ありがとうメッセージ～助成を受けた団体からの「ありがとう」～

共同募金は、都道府県ごとに行われ、地域の課題を解決するための様々な活動を行う団体に対して配分（助成）されます。集められた地域で役立てられている「じぶんの町を良くするしくみ」です。みなさんの「やさしい気持ち」に支えられ美幌町内で活動する、配分（助成）を受けた団体から「ありがとう」のメッセージが届いています。ここでその一部をご紹介します。

ふまねっと　びほろ

『ふまねっと運動』でフレイル予防と健康推進に取り組んでいます。

ふまねっと運動は『注意力・集中力・記憶力』の向上と貯筋づくりを目指し、50cm四方のマス目のネットを踏まないように気を付けてゆっくりしたテンポで歩いて頂く運動です。この度赤い羽根募金の配分金によりふまねっとのネットなどを購入することができました。住民皆様のフレイル予防と健康推進に取り組んでまいります。赤い羽根ありがとう！今後、町民の皆様が気楽にふまねっと運動に参加して頂ける体験会を開催させていただきますのでご参加下さい。皆様のお声がけをお待ちしています。

090－1528－9175（会長　平田　美木男）

美幌こども食堂

美幌の未来である、こどもを中心とした食堂型の地域共生サロンです。

私たちの運営と活動は、多くの企業や個人の皆様の善意と多くのボランティアのご協力で成り立っています。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人と人とが距離を取り、接触する機会を減らすことが求められ、コミュニケーションが取りづらい状況下にありますが、こんな時だからこそ、つながりや、見守りを絶やさないまちづくりの継続が必要だと思います。本年度も赤い羽根募金の配分金により、コロナ対策をしながら、社会的孤立や貧困に立ち向かう活動ができています。赤い羽根ありがとう！（代表　大屋　充）

ナルク美幌からまつ

美富団地の皆さんの集いの場「ふれあいサロン」です。

ナルク美幌は美富団地内に事務所を設置。高齢者が集い、楽しく過ごす居場所を提供しようと2010年4月から「ナルクふれあいサロン」を開設。以来毎月1回第2水曜に団地内居住の高齢者が集い、スクラッチアート、塗り絵、懐かし歌唱、手指や頭の体操など楽しみ、昼食を提供。毎月サロンの日が来るのを首を長くして待っています。皆さんの笑顔からスタッフ一同元気を頂いています。赤い羽根共同募金の配分金により、手指消毒や除菌、空気清浄機を活用してコロナ対策を行い地域福祉の貢献活動ができています。赤い羽根ありがとう！（代表　門馬　正）

【町内福祉団体への配分先（単位：円）】老人クラブ連合会 50,000、身体障害者福祉協会 40,000、たすけあいチーム(32チーム)活動助成金 650,000、絆一びほろ 120,000、ナルク美幌 45,000、保護司会 60,000、更生保護女性会 60,000、美幌こども食堂 120,000、相撲連盟 30,000、赤十字奉仕団 40,000、フレンズ 30,000、ハート支援ネットワークの会 35,000、ボランティア連絡協議会 100,000、ふまねっと 84,000、グリーングループ 30,000、ふきのとう 30,000、まなざし 25,000、ボランティアセンター 30,000、小中学校ボランティア活動 150,000、社協活動・地域支援等へ 482,779 ／ 合計2,211,779